

財の金閣寺が火災で失われたことを知っています。文

「国民の財産、文化財の火災」
伏見住吉小学校児童の作文より

「私は、昭和25年に文化財の金閣寺が火災で失われたことを知っています。文

1月23日 (金) ~ 29日 (木)

文化財防火運動



伏見消防署 ☎ 641-5355
醍醐消防分署 ☎ 571-0474

現在の文化財関係社寺等の火災原因の第一位は「放火」で、ほかにも「火遊び」「たき火」などの人為的な原因により文化財が失われていることを知り、「文化財が失われるのではなく、他の人事ではない」とことを伝えています。

地域の防災訓練に参加を

2月15日までの予定

1月25日 北醍醐
2月15日 竹田、石田

641-1295

【対象】事業所得や不動産所得などから算出される所得がある方、給与収入が2万円を超える方等。

○所得税の確定申告は税務署へ

822 (641-5111)

数字でみる伏見区

【平成20年12月1日現在の推計】	
人口	283,909人
(男 136,194人 女 147,715人)	
世帯数 122,625世帯	
【平成20年11月中の動き】	
人の動き(住民基本台帳異動数)	
出生	188人 死亡 203人
転入	888人 転出 927人
火災	1件(前年同月差 -4件)
救急出勤	1,204件(前年同月差 -9件)
交通事故(速報値集計数)	
発生	169件 死者 2人 負傷者 194人

ご利用ください! 市政情報総合案内コールセンター
京都いつでもコール 午前8時~午後9時(年中無休)
電話 661-3755 FAX 661-5855
電子メール (以下のホームページから送信できます)
パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

窓口業務時間延長

【対象】平成21年1月1日現在、市内在住で、20年中の所得金額が市・府民税の基礎控除額、配偶者控除額、扶養控除額の合計額を超える方。ただし、20年分の所得税の確定申告をした方や、20年中の所得が給与だけで、勤務先から給与支払報告書が提出されている方は申告不要です。

○所得税の確定申告は税務署へ

641-5111、区役所市民税課(641-1534)、支所課税課(642-3408)、醍醐支所(571-6)

「はたちの献血」キヤンペーン実施中!
「はたちの献血」キヤンペーンは、今年成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く一般に献血への協力を呼びかける取組

ペーンは、胃腸が刺激され、体が自覚するともに体温が上昇します。また、脳にエネルギーが補給され、活動を始めるので、仕事や勉強に集中できます。腸への刺激により排便が促されます。

朝ごはんを食べるとき、胃腸が刺激され、体が自覚するともに体温が上昇します。また、脳にエネルギーが補給され、活動を始めるので、仕事や勉強に集中できます。腸への刺激により排便が促されます。

安心・安全・健やかひろば



保健部



寒い季節こそ、
きちんと朝ごはんを

食べる習慣をつけ
るには、食事だけではなく生活習慣全体を見直すこと。早寝早起きで一日3回の食事を規則正しく食べることは肥満予防にもつながります。

ふしみ昔紀行

▶64◀



竹田街道の車石
(御香宮門前町)
御香宮の境内に、かつて牛車が行き交う街道に敷かれていた「車石」が設置され、当時の様子を再現しています。

これは、竹田街道(竹田車道)の権界付近に使用された車石は、東洞院通七条から伏見町内まで敷設され、単線のため午前中は上り、午後は下りと一方通行になっています。

いたもので、街道沿いの酒屋から寄贈されたものです。

車石は、東洞院通七条から



伏見区老人クラブ連合会
筆の「ふしみ昔紀行」が、平成20年5月号でついに連載第60回を迎えました。

平成9年11月号の連載開始以来、「知られざる伏見」をテーマに地域の文化遺産やお祭りなどを紹介してきました。

伏見区老人クラブ連合会が運営する「ふしみ昔紀行」は、駅の昔の様子などを分かれてやすく取りまとめており、現在も多くの方々から支持をいただいております。

車の車輪がどらされました。そこで、車輪の通る箇所に板や石を敷くようになり、やがて規格化された敷石(車石)を作りました。今も残る深い轍の跡は、往時の牛車の交通の激しさを物語っています。

(伏見区老人クラブ連合会)

「ふしみ昔紀行」 60回記念誌が発刊



伏見区老人クラブ連合会
筆の「ふしみ昔紀行」が、平成20年5月号でついに連載第60回を迎えました。

平成9年11月号の連載開始以来、「知られざる伏見」をテーマに地域の文化遺産やお祭りなどを紹介してきました。

伏見区老人クラブ連合会が運営する「ふしみ昔紀行」は、駅の昔の様子などを分かれてやすく取りまとめており、現在も多くの方々から支持をいただいております。

車の車輪がどらされました。そこで、車輪の通る箇所に板や石を敷くようになり、やがて規格化された敷石(車石)を作りました。今も残る深い轍の跡は、往時の牛車の交通の激しさを物語っています。

(伏見区老人クラブ連合会)

が集まる低湿地帯のため、雨が降ると工道のぬかるみに牛車の車輪がどらされました。そこで、車輪の通る箇所に板や石を敷くようになり、やがて規格化された敷石(車石)を作りました。車幅は約1.5メートルあります。今も残る深い轍の跡は、往時の牛車の交通の激しさを物語っています。

車の車輪がどらされました。そこで、車輪の通る箇所に板や石を敷くようになり、やがて規格化された敷石(車石)を作りました。今も残る深い轍の跡は、往時の牛車の交通の激しさを物語っています。

車の車輪がどらされました。そこで、車輪の通